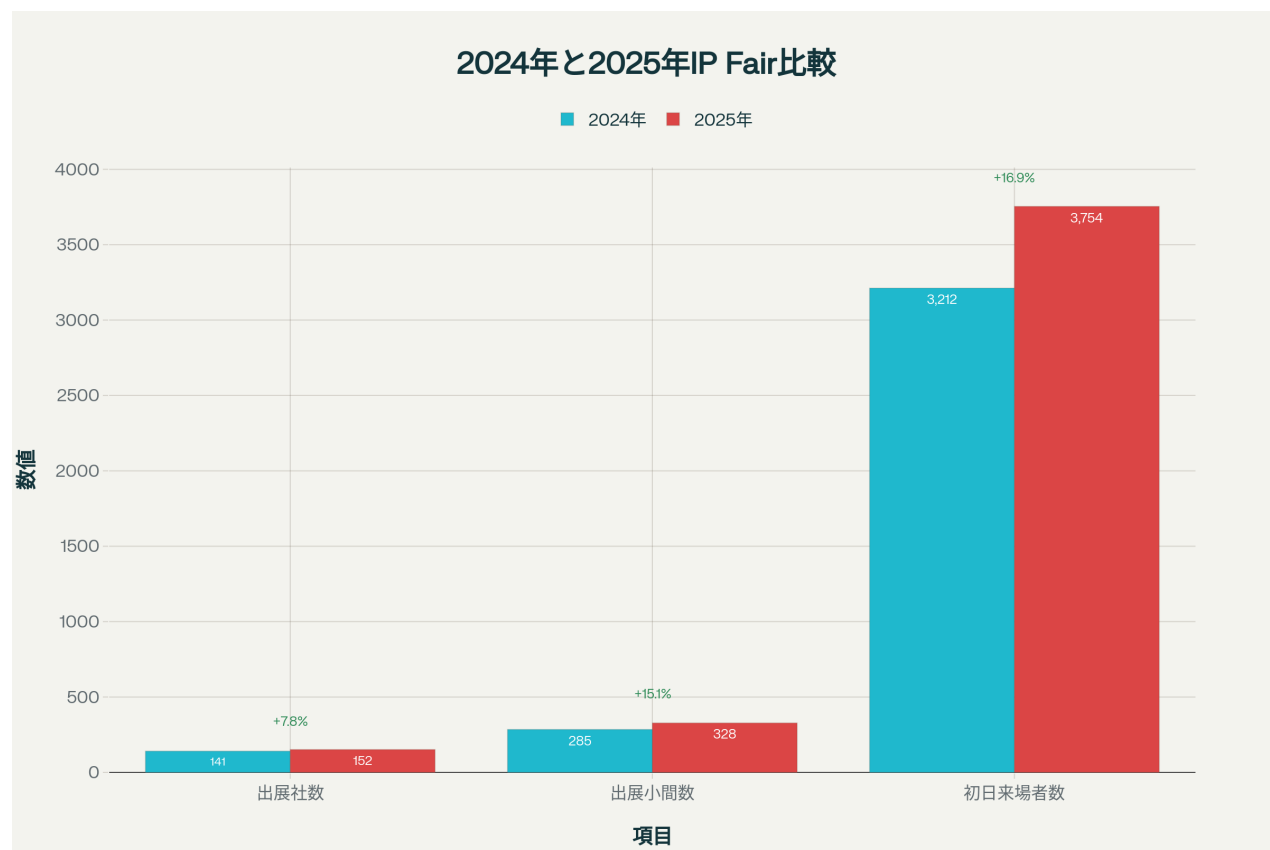




第34回 2025知財・情報フェア&コンファレンス：過去最大規模での成功と生成AI時代の知財業界の転換点

概要

2025年9月10日から12日まで東京ビッグサイトで開催された第34回知財・情報フェア&コンファレンスは、過去最大規模での開催となり、知財業界における生成AI時代の本格的な到来を象徴する記念すべきイベントとして高く評価されました。出展社数152社・団体、出展小間数328小間、プレゼンテーション86テーマという規模は、いずれも同イベント史上最大を記録し、初日だけで3,754名が来場するなど、参加者の関心の高さを物語っています。 [\[1\]](#) [\[2\]](#) [\[3\]](#) [\[4\]](#) [\[5\]](#)



2024年と2025年の知財・情報フェア&コンファレンス規模比較

イベント規模と参加状況の飛躍的成長

過去最大規模での開催実績

2025年の知財・情報フェア&コンファレンスは、40年以上の歴史を持つ同イベントにおいて、複数の指標で過去最高を記録しました。****出展社数は152社・団体（前年比+11社、約7.8%増）、出展小間数は328小間（前年比+43小間、約15.1%増）****となり、量的な拡大だけでなく、内容の充実も図られました。^{[6] [4] [5]}

特に注目すべきは初日の来場者数で、****3,754名と前年同日の3,212名から542名増（約16.9%増）****を記録し、業界関係者の高い関心を裏付けています。これは、知財業界が直面している生成AIなどの技術革新への対応ニーズが高まっていることを如実に示しています。^{[7] [3]}

参加者層の多様化と専門性向上

来場者の構成は、企業の知財・研究開発部門の専門家、弁理士、特許事務所関係者などの従来の参加者に加え、**知財業界に初めて参加する新人や地方からの参加者も多数含まれ**、業界の裾野拡大が確認されました。参加者からは「毎年参加している常連」「10年以上前から参加」といった長期継続参加者の存在も確認され、同イベントの継続的な価値向上が評価されています。^{[7] [8]}

生成AI時代の知財業界変革の象徴

AI・生成AI関連展示の圧倒的な存在感

2025年の最大の特徴は、****「AI、AI、AI！AIを使ったサービスだらけ」****と参加者が表現するほど、生成AI関連の展示とサービスが会場を席卷したことです。パンフレットデザインからして「CHIZAI」の「AI」がArtificial Intelligenceの「AI」を強調するものとなり、業界全体のAI重視の姿勢が表れています。^{[9] [7]}

主要なAI関連出展社には、AI Samurai、Tokkyo.Ai、PatSnap、Questel、パテント・インテグレーション、東芝、LexisNexis、Fovea、NTTデータなどが含まれ、**知財業務の各段階でのAI活用ソリューションが包括的に展示**されました。特に、パテント・インテグレーション社は知財実務における生成AI利活用に関する特許を複数保有し、訴訟も提起するなど、この分野での技術的リーダーシップを示しています。^{[2] [10] [11] [12] [13]}

実務への生成AI導入事例の充実

展示内容では単なるツール紹介にとどまらず、**実際の業務への導入事例や活用方法の具体的な紹介**が多数行われました。東芝は「知財業務への生成AIの活用を考える」というワーキンググループの成果として、業務効率や質向上に効果があった生成AIプロンプト事例を参考出展し、実践的な情報提供を行いました。^{[2] [11] [13]}

アズテック社の「生成AIで変わる知財調査：現場での実践とその未来像」、HackCampの「共創ナビvan」を活用した三菱電機の事例紹介など、**具体的な企業での導入成果を共有するセミナー**が多数開催され、参加者から高い評価を受けました。^{[14] [15]}

セミナー・講演プログラムの質的向上

過去最多86テーマのプレゼンテーション

出展者プレゼンテーションは前年比24テーマ増の**86テーマ**という**過去最多**を記録し、その約30%がAI・DX関連内容で占められました。内容の質も向上し、単なる製品紹介を超えて、実践的な活用方法や課題解決事例の共有に重点が置かれています。^{[16] [7] [14] [17]}

特許庁長官をはじめとする要人講演

特許庁の河西康之長官による講演「知財で稼ぐ政策実現を」が開催され、**官民連携による知財活用推進の重要性**が強調されました。また、AI Samurai代表取締役の白坂一氏による「知財×AI」で切り拓く新たな発見と共創の未来など、業界のオピニオンリーダーによる基調講演が充実しました。^{[11] [18]}

国際的な知財制度動向の共有

P5（日米欧中韓）各国の特許庁担当者による講演シリーズでは、「世界の特許関係機関担当者による講演」として最新の国際動向が共有され、**グローバルな知財戦略立案に必要な情報**が提供されました。^[16]

参加者からの高評価と業界への貢献

参加者の肯定的な反応

参加者からは**「AIツールが本格的な普及段階に入ったことを強く実感した」**との声が多数聞かれ、知財業界のデジタル変革の現状を体感する貴重な機会として評価されました。「活気ある会場の様子」「参加者の関心度も非常に高い」といった評価が相次ぎ、イベントの成功を裏付けています。^{[7] [3]}

ブース前で開催される**ミニセミナーも「大変参考になる内容が多い」**として高く評価され、従来の大型セミナーだけでなく、より身近で実践的な情報交換の場としての価値も認められています。^{[8] [7]}

継続参加者からの期待

長年参加している関係者からは「知財系求人求職フェアの再開希望」「オフ会などコミュニティ交流イベントの再開希望」といった要望も寄せられ、同イベントが単なる商談の場を超えて、**知財コミュニティの結束点としての役割**も期待されていることが明らかになりました。^[8]

運営上の課題と今後の改善点

開催時期と環境面での課題

今回は例年より早い9月上旬の開催となり、**残暑の厳しさが参加者の負担**となりました。これに対してアズテック社などの出展者が来場者向けに団扇を用意するなど、各社が工夫を凝らして対応しています。^[14]

セミナー参加システムの改善余地

事前登録制のセミナーでは満席となるものが多く、キャンセル待ちでも聴講が確約されないという課題が指摘されています。人気の高いセミナーへのアクセス改善や、録画配信などの検討が今後の課題となっています。^{[16] [19]}

地方参加者への配慮

東京ビッグサイトでの開催により、地方の参加者には交通・宿泊面での負担が大きく、より広範な参加促進に向けた施策検討の必要性が示唆されています。^[14]

知財業界の将来展望と同一イベントの位置づけ

生成AI時代の知財実務変革

今回のフェアで明確になったのは、生成AIが知財実務の「読み書きそろばん」と同じく必須スキルになりつつあるという業界認識です。各社が提供する生成AI活用ソリューションは、特許検索、侵害分析、明細書作成、prior art調査など、知財業務のあらゆる段階をカバーしており、業務効率化だけでなく品質向上にも寄与しています。^{[13] [15] [20]}

無形資産経営への関心拡大

特別講演「デザイン経営」+「知財・無形資産」で企業価値を底上げせよ！や、NTTデータによる「知的財産が創り出す未来の社会像」といった講演内容からも明らかのように、単なる権利保護から価値創造・事業貢献への知財の役割変化が鮮明になっています。^{[16] [12]}

国際競争力強化への貢献

特許庁長官の講演テーマ「知財で稼ぐ政策実現を」に象徴されるように、知財を通じた日本企業・日本経済の競争力強化という国家的課題への貢献が、同一イベントの重要な使命として位置づけられています。^{[18] [19]}

結論：知財業界変革の触媒としての成功

第34回2025知財・情報フェア&コンファレンスは、過去最大の規模と内容の充実により、知財業界におけるデジタル変革の現在地と未来展望を包括的に示す重要なイベントとして成功しました。生成AI技術の実用化段階への移行、無形資産経営の重要性増大、国際的な知財制度調和の進展など、業界が直面する重要課題に対する解決策とベストプラクティスが集約され、参加者に具体的な価値を提供しています。^{[4] [5]}

今後も同一イベントが、知財業界の変革を牽引する情報発信基地としての役割を果たし続けることで、日本の知財力向上と国際競争力強化に寄与することが期待されます。特に、生成AI活用のベストプラクティス共有、スタートアップ支援コンテンツの拡充、地方企業の参加促進などの課題解決を通じて、より包括的で実践的なプラットフォームへと発展していくことが望まれています。



2. <https://www.global.toshiba.jp/company/digitalsolution/event/2025/0910-0912.html>
3. <https://ameblo.jp/123search/entry-12929414717.html>
4. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001963.000022608.html>
5. <https://adv.tokyo-np.co.jp/prtimes/article53482/>
6. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/01/pifc2025yoko_v1.pdf
7. https://note.com/jp_design/n/n62c1b7f2f43c
8. <http://cytech.way-nifty.com/blog/2025/09/post-d7a3f2.html>
9. <https://note.com/gaha9ben54/n/n0d83851e4907>
10. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000086119.html>
11. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000274.000021559.html>
12. <https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2025/081800/>
13. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000086119.html>
14. <https://aztec.co.jp/news/columns/8048>
15. <https://hackcamp.jp/news/seminar-20250910/>
16. <https://pifc.jp/2025/visit/>
17. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v4.pdf
18. <https://www.sankei.com/article/20250908-6SMDC2RBSZLB7FD43U3VM4B2YY/>
19. <https://ameblo.jp/123search/entry-12888104827.html>
20. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/09/pifc2025f3_003.pdf
21. <https://elevate.law/events/2025-pifc-jp/>
22. <https://pifc.jp/2025/report/>
23. <https://www.sensorexpojapan.com>
24. <https://pifc.jp/2025/download/>
25. <https://www.inpit.go.jp/index.html>
26. <https://www.youtube.com/playlist?list=PLzC7MtskP98zm08zJOpX3F5yiPj8zd8Mj>
27. <https://pifc.jp/2025/>
28. <https://www.hitachi-sis.co.jp/service/chizai/mc/index.html>
29. <https://super-ip-expo.com/2025>
30. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/09/pifc2025f3_001.pdf
31. <https://axelidea.com/20250815/>
32. <https://chizai-portal.inpit.go.jp/about/pdf/questionnaire.pdf>
33. https://note.com/aruyo_me/n/nd7953f205c65
34. <https://pifc.jp/2025/exhibit/>
35. https://topwing.jp/ultra_slim_link.html
36. https://www.sankei.com/images/event/banner/pifc2025_guide.pdf
37. <https://www.autoid-expo.com/tokyo/jp/report/analyze.php>
38. <https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/09/pifc2025chizai.pdf>
39. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf

40. <https://www.hatsumei.co.jp/pifc2025-hatsumei/>
41. <https://news.denfaminicogamer.jp/news/250909m>
42. <https://www.technoresearch.co.jp/news/>
43. <https://www.interphex.jp/tokyo/ja-jp/search/2025/directory.html?page=2>
44. https://shinkin-fair.com/download/place_map_2025.pdf?v=10
45. <https://www.smrj.go.jp/press/>
46. <https://note.com/haruson745/n/n23baff3df326>
47. https://note.com/ryu_yuasa/n/ncb5d4b448976
48. <https://iptech.jp/info/250823>
49. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000365.000022608.html>
50. <https://ameblo.jp/123search/entry-12924593083.html>
51. <https://note.com/chizaijuku/n/n90bf955c6385>
52. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001873.000022608.html>
53. <https://iptops.com/blog/193273>
54. https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/20250406_eventcalender_hosoku.pdf
55. <https://iptops.com/blog/193202>
56. <https://ppl-ai-code-interpreter-files.s3.amazonaws.com/web/direct-files/2a5928f9409a537030cd9ef9cbbaf6d2/42e6d8d0-f76a-4444-99d1-4e00225e356d/4243be47.csv>